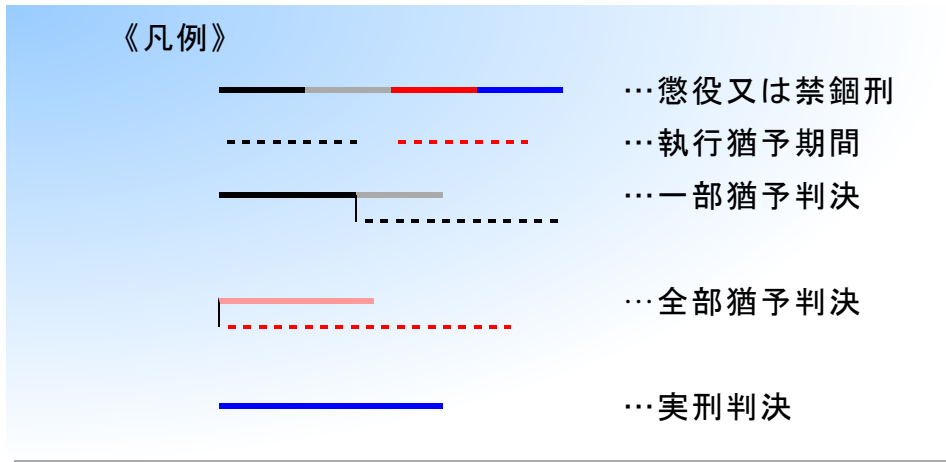
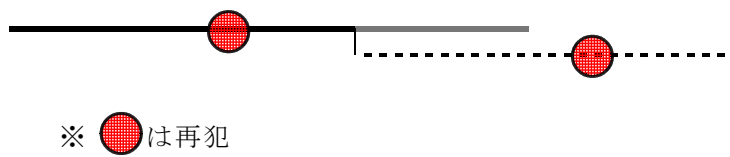


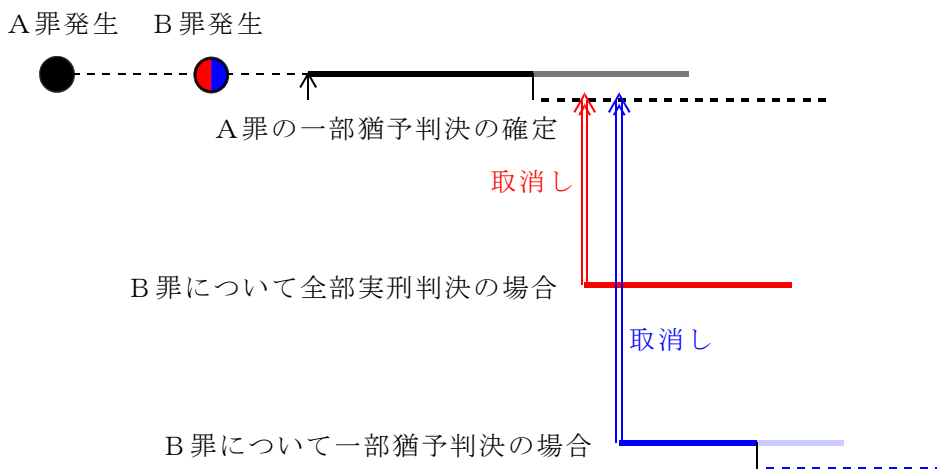
参 考 図



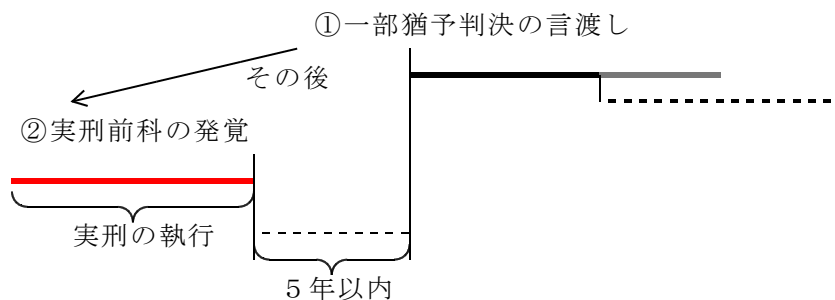
1 刑の一部の執行猶予の言渡し後に更に罪を犯し、禁錮以上の刑に処せられたとき。(資料第1の1(1)ア)



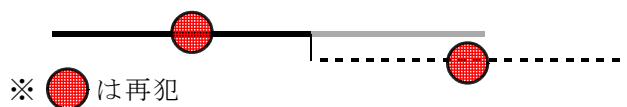
2 刑の一部の執行猶予の言渡し前に犯した他の罪について禁錮以上の刑に処せられたとき。(資料第1の1(1)イ)



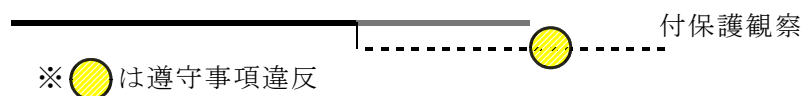
3 刑の一部の執行猶予の言渡し前に他の罪について禁錮以上の刑に処せられ、その刑について刑法第25条の規定による執行猶予の言渡しがなかったことが発覚したとき。ただし、刑の一部の執行猶予の言渡しを受けた者が、同条第1項第2号に掲げる者であるときは、この限りでない。(資料第1の1(1)ウ)



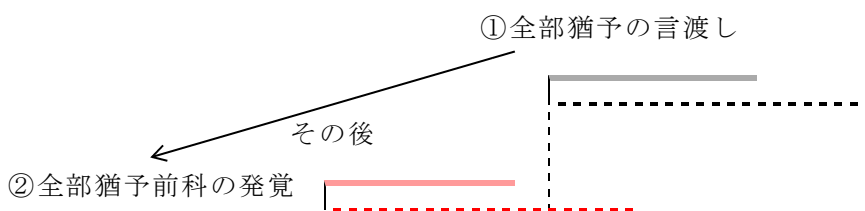
4 刑の一部の執行猶予の言渡し後に更に罪を犯し、罰金に処せられたとき。(資料第1の1(2)ア)



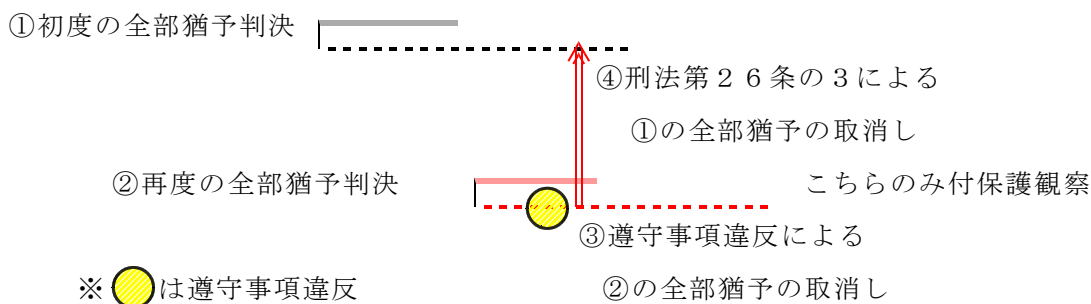
5 参考試案第1の2により保護観察に付せられた者が遵守すべき事項を遵守しなかったとき。(資料第1の1(2)イ)



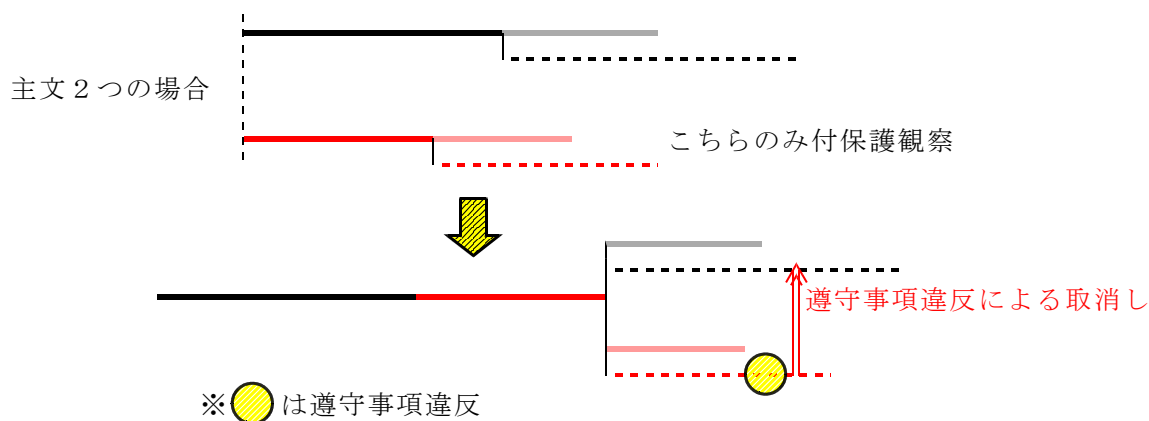
6 刑法第26条の2第3号



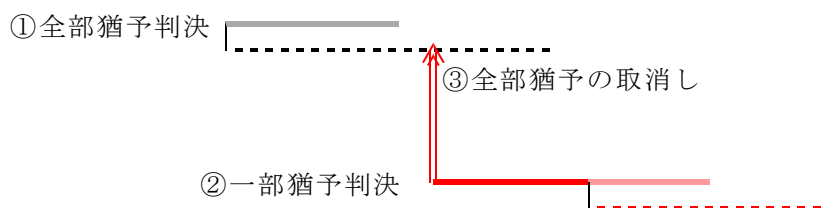
### 7-1 刑法第26条の3



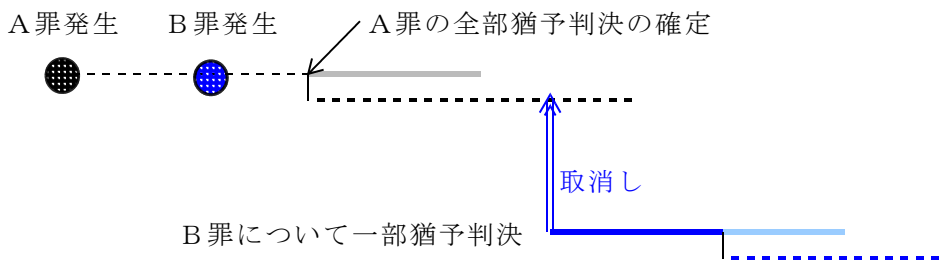
7-2 (1)及び(2)により刑の一部の執行猶予の言渡しを取り消したときは、執行猶予中の他の禁錮以上の刑についても、その猶予の言渡しを取り消さなければならないものとする。(資料第1の1(3))



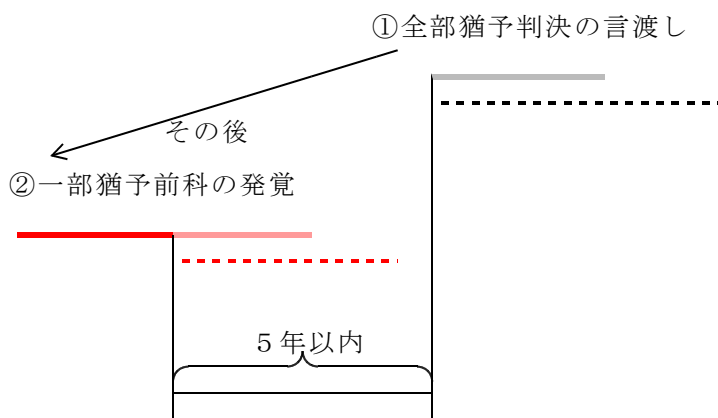
8 刑法第25条の執行猶予の期間内に更に罪を犯して刑の一部の執行猶予の言渡しを受けたとき。(資料第2の1)



9 刑法第25条の執行猶予の言渡し前に犯した他の罪について刑の一部の執行猶予の言渡しを受けたとき。(資料第2の2)



10 刑法第25条の執行猶予の言渡し前に他の罪について刑の一部の執行猶予を言い渡されたことが発覚したとき。(資料第2の3)



11 1に規定する期間の刑の執行を終わったときに他に執行すべき懲役又は禁錮があるときは、刑の一部の執行猶予の期間は、1にかかわらず、その執行すべき懲役又は禁錮の執行が終わった日又はその執行の免除を得た日から起算するものとする。(資料第3の2)

